2026年度

Institute of SCIENCE TOKYO

# キャリアアップMOT（CUMOT）
# サイバーセキュリティ経営戦略コース
# 受講生募集のご案内

環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程 実施

説明会の動画を8月下旬よりwebで配信しています。視聴方法は2P「説明会動画配信のご案内」にて。

**サイバーセキュリティ確保の観点から企業・組織の経営戦略や価値向上に変革をもたらすことができる人材の育成を目指します　～オンライン講義形式で全国より受講可能～**

## コースの目的

本格的なグローバルネットワーク社会の到来に伴い、サイバーセキュリティに関連するリスク・危機管理の実践が企業・組織の持続性と価値向上に重要な意味を持ち、経営判断や戦略構築に大きな影響を及ぼし始めています。この情勢を受けて、本コースではサイバーセキュリティ経営及びその戦略立案に求められる知識・能力を備え、企業・組織を先導する人材の育成を目的とします。

## コースの特徴

・充実の講師陣：我が国をリードする産官学の実務経験豊富な外部講師陣が講義を担当
・サイバーセキュリティ経営のエッセンスを体系的にカバーする希少なカリキュラム
・座学だけでなく、受講生同士による議論やワークショップによって理解を深める実践的な講義スタイル
・演習形式の講義も行うことで、「何を」だけでなく「どうやって」まで学べる機会を提供

## コース担当教員　ご挨拶

サイバーセキュリティ経営の浸透は世界に共通する重要課題であり、我が国においても喫緊の課題として認識されています。しかし、企業・組織でサイバーセキュリティ経営を主導できる人材は大幅に不足しているのが現状です。このサイバーセキュリティ経営戦略コースでエッセンスを集中的に学ぶことで、皆様の人材価値を是非高めていただきたいと期待しています。

技術経営専門職学位課程教授　笹原 和俊

## このような方に受講をお勧めします

・サイバーセキュリティ経営の導入・促進に取り組む（取り組みたい）経営企画部門等の方
・CISOまたはその補佐役（戦略マネジメント層）の即戦力を目指す方
・情報システム/セキュリティ部門の一担当者から、企業・組織のサイバーセキュリティ経営を担う戦略的人材へのステップアップを目指す方
・事業部門の事業経営／事業戦略に、サイバーセキュリティ経営の手法を取り入れたい方
・その他、サイバーセキュリティ経営のエッセンスを体系的に学びたい方　等

【受講生の評価】 5段階、2025実績
◆授業の総合的な満足度　平均4.9
◆業務への役立度　平均4.5
【参加者の所属先の例】
大手電機メーカー、情報通信、金融、防衛省、コンサルタント、研究機関、ITベンチャー、等

## 2026年度スケジュール

2026～2027年　木曜19～21時開催　Zoomによるオンライン講義形式　　※所属等は2026年7月時点です

| 回 | 日程 | 科目 | 担当 | 所属・役職等 |
|---|---|---|---|---|
| – | 10/26（月） | 受講ガイダンス、グループ課題説明 | 古俣升雄<br>三笠武則 | 東京科学大学 環境・社会理工学院<br>合同会社三笠ポリシーアドバイザリ |
| 1 | 10/29 | サイバーセキュリティ経営の導入・目指すべきアウトカム | 小川隆一 | 独立行政法人情報処理推進機構 セキュリティセンター シニアエキスパート |
| 2 | 11/5 | サイバーセキュリティを通じた企業価値向上のポイント | 梶浦敏範 | 日本サイバーセキュリティ・イノベーション委員会代表理事 |
| 3 | 11/12 | 企業の将来価値を支える無形資産とサイバーセキュリティ | 橘了道 | PwCコンサルティング合同会社　シニアマネージャー |
| 4 | 11/19 | サイバーセキュリティ経営におけるコミュニケーションの重要性 | 鎌田敬介 | 独立行政法人情報処理推進機構 顧問 株式会社Armoris取締役専務CTO |
| 5 | 11/26 | 経営層と戦略マネジメント層の望ましい関わり | 守屋聡 | PwC Japan合同会社 Deputy Chief Security and Trust Officer |
| 6 | 12/3 | サイバーセキュリティマネジメントの要点～リスクマネジメントと危機管理／レジリエンス | 野口和彦 | NPO 法人リスク共生社会推進センター理事長 |
| 7 | 12/10 | ワークショップ：WannaCry事件に基づくディスカッション | 村山厚 | 株式会社日立製作所 情報セキュリティリスク統括本部 副統括本部長 |
| – | 12/17 | グループ課題中間発表 | コースコーディネータ | |
| 8 | 1/7 | サイバーセキュリティの関連法令 | 蔦大輔 | 森・濱田松本法律事務所外国法共同事業 パートナー 弁護士 |
| 9 | 1/14 | サイバースペースの地政学(データセンター、海底ケーブル) | 小宮山功一朗 | 慶應義塾大学SFC研究所 上席所員 |
| 10 | 1/21 | サプライチェーンのセキュリティと経済安全保障 | 石原修 | 株式会社日立製作所 デジタルシステム＆サービス統括本部 経営戦略統括本部 渉外本部 シニアエキスパート |
| 11 | 1/28 | 机上演習：事業経営の観点から、サイバーセキュリティリスクの特定と対応戦略をシミュレーションしてみよう！ | 大野博堂 | 株式会社NTTデータ経営研究所金融政策コンサルティングユニット長／マネージングディレクター |
| 12 | 2/4 | サイバーセキュリティ領域におけるAIの趨勢・動向 | 桐淵直人 | AIセーフティ・インスティテュート 独立行政法人情報処理推進機構 研究員 |
| 13 | 2/27（土） | 特別講義　生成AI時代のフェイクニュースとその対策 | 笹原和俊 | 東京科学大学 環境・社会理工学院 教授 |
| 14 | | グループ課題最終発表 | コースコーディネータ | |

# サイバーセキュリティ経営戦略コース

## コースコーディネータ紹介

三笠　武則（みかさ　たけのり）
合同会社三笠ポリシーアドバイザリ
代表社員

研究員／コンサルタントとして、35 年間一貫して安全・セキュリティ分野のプロジェクトに従事。物理的セキュリティ／保安対策、サイバーセキュリティ／営業秘密保護、IoT 製品の安全／セキュリティなどの分野で豊富な調査研究実績を有する。営業秘密保護推進研究会事務局長を務める。

犬丸　典子　（いぬまる　のりこ）
ALSOK株式会社
商品サービス戦略部情報セキュリティサービス推進室長

地銀・信用金庫向け共同利用ATMシステムや警備・警送関連システムの開発・運用を経て、ネットワークおよび営業・人事等の基幹業務システムの刷新を推進。2023年からはお客様向けポータルサイトの構築を主導するとともに、全社DX戦略の立案・推進に携わる。現在は、情報セキュリティサービスの企画責任者として、サービス企画および事業開発を担当している。

## 社会人受講生の学習環境

学習形態
働きながら学ぶ社会人にとって参加のしやすいZoomを用いたオンライン講義形式を予定しています。講義による学習だけでなく、気付きを引き出し、学びを深める、ディスカッションやグループ課題の取組・発表などを含む学習形態です。

学習環境のフォロー
本コースでは、講師の了解をいただいた科目において、欠席等の方へのフォローや講義後の振り返りができるように、web（インターネットブラウザ）で視聴できるeラーニング（講義の録画動画の配信）をご用意しています。
また、5名前後のグループで課題に取り組んでいただきますが、情報共有ならびにグループ学習等の支援として使用するコミュニケーションシステム（slack）を提供予定です。

## 募集要項

### 受講期間
2026年10月26日～2027年2月27日　毎週木曜19時~21時開催（全14回）
※受講ガイダンス（10/26）は月曜（19～21時）、特別講義/グループ課題最終発表会（2/27）は土曜日に実施します（13時30分開始予定）

### 受講対象者
サイバーセキュリティ経営の企画、サイバーセキュリティ経営の主力としての活動、現場の情報システム/セキュリティ担当からのステップアップ、事業部の経営戦略へのサイバーセキュリティ経営の取り込み等に取り組む方、など。

### 受講場所
Zoomを用いたオンライン受講です。
※オンライン講義の受講に必要な通信環境は受講者にてご用意ください

### 募集人数
24名　（＊最小開催人数12名）

### 受講料
220,000円（消費税込）
※お支払方法はお振込みにて受講前に手続きについてご案内します（10 月上旬予定）。お振込み後の受講料の返還はいたしませんので、ご了承ください

### 申込期間　※受講枠があるため受付期間を延長しました（2026.9.30）
2026年8月24日（月）～2026年10月14日(水)（締切日必着）
※定員に達し次第、応募は締め切りますのでご注意ください。
※企業派遣など上記期間での対応が難しい場合はメールまたはお問い合わせフォームよりご相談ください。

### 申込方法
願書に必要事項をご記入のうえ、下記の住所までお送りください（締切日必着）。※PDFファイル等、電子ファイルでのご提出も受け付けます（cumot-info@isc.ens.isct.ac.jp）。メールの送受信をもって押印・署名扱いとさせていただきます。
申込用紙は専用webサイトからダウンロードできます。
〒108-0023　東京都港区芝浦3-3-6　CIC910　CUMOT事務局
サイバーセキュリティ経営戦略コース　受講申込担当

### 受講審査・受講通知
願書をお送りいただいた後、志望理由書等にもとづく書類審査をいたします　（申込順審査）。受講通知についてはメールにてご連絡いたします（受講許可の案内を通知）。
専用 Web サイト：https://www.cumot.isc.ens.titech.ac.jp/cy/index.html

### お問い合わせ
東京科学大学（Science Tokyo）　CUMOT事務局
問い合わせ先E-mail：cumot-info@isc.ens.isct.ac.jp
※受講についてお問合せがある場合は、メール等にて個別相談にも応じます。

## 説明会動画配信のご案内

サイバーセキュリティ経営戦略コース（2026年度）の説明会の動画を web で配信いたします。
【申込方法】問い合わせフォームにアクセスし、「サイバーセキュリティ経営戦略コースについて」を選択し、必要事項を入力のうえ、「問い合わせ内容」で、「説明会視聴希望」としてお送りください。視聴に必要な ID と資料（PDF）をお送りします。
メール（cumot-info@isc.ens.isct.ac.jp）でのお申込みも可能です。詳細および最新情報は、　web　サイトにてご確認ください。
https://www.cumot.isc.ens.titech.ac.jp/cy/index.html

## 実施体制

主　　催：東京科学大学社会人アカデミー
事業主体：環境・社会理工学院（技術経営専門職学位課程）
修了認定：修了者には社会人アカデミー長名の「修了証書」を交付いたします。評価については、出席状況を含め、コースごとに行います。

※本プログラムは予定中のもので、一部、変更になる場合がございます。（2026月9月30日現在）